



## 南米アタカマ砂漠にチャレンジしたATACAMANが全員無事完走!皆様応援ありがとうございました。

オーエスのモバイルソーラーも無事完走し、ATACAMANのエネランナーだけでなく、各国の参加者のデジタルカメラなど各種デバイスの電力源として活躍してくれました。

エネランナーの木村さんが帰国し、レースの様状を知ることができ、改めて全員完走の偉業をたたえるとともに、応援していただいた方々に御礼申し上げます。応援ありがとうございました。

### ATACAMAN 最終成績

14位	五十嵐 司	34時間 16分 21秒
60位	木村 弘樹	45時間 25分 22秒
96位	眞守 真輝	56時間 52分 12秒
113位	南里 翔平	64時間 22分 48秒
128位	岡田 果純	70時間 27分 45秒

※五十嵐さんは日本人トップの成績で自分の目標を達成しました。

大会の様状は、オフィシャルウェブサイトではしか知ることができず、順位を見て一喜一憂していましたが、帰国後やっと数多くの写真とともに、話を聞くことができました。

以下はエネランナー木村弘樹さんのソーラー発電機体験記です。

私たちの壮大な挑戦、世界一過酷なマラソン「アタカマクロッシング2013」Atacaman5人全員が、そしてなんと参加した日本人21名全員が)完走を果たしました。マラソン期間の7日間は、250kmを、走ることだけ、生きることだけに必死になった、過酷でありながらもシンプルな日々であり、また感動とエネルギーに満ちた日々でした。製作していただいたソーラーパネルは、無くてはならない必需品でした。当初予定していたAtacaman5人のカメラやipodの充電は途切れることなく毎日素敵な写真を撮影でき、音楽を聴きながらリラックスして休息することができました。嬉しいことに、同じテントメイトやその他の参加者のGPS付きの時計や、カメラ、iphoneの充電にも大活躍でした。

マラソン時に、総勢10人の参加者のエネルギーの供給に役立ちました。日本の技術を世界のトップランナーに肌で感じていただける機会になりました。中には「私もこのソーラーパネル欲しい。売ってないの?」と言ってくる参加者も居たほどです。軽さ、耐久性、収納性の高さに感動していました。バッテリーへの給電は、晴天率99%のアタカマ砂漠では場所時間限らず(太陽が沈むまで)いつでもどこでもできました。私たちの挑戦に多大なるご支援、応援して下さったことに、心から御礼申し上げます。(エネランナー木村弘樹)

私たちオーエス一同にとっても、自分たちの製品が役に立った事はとても嬉しい事でした。

次のページでATACAMANの走りの雰囲気味わってください。

ATACAMANの走りは下記ウェブサイトでもご覧いただけます。  
<http://road-to-atacama.tumblr.com/>



エネランナー木村さんのスタート



もう一人のエネランナー五十嵐さんは日本人トップでゴール



先はまだ長い、始まったばかりのアタカマ砂漠マラソン

# ATACAMA CROSSING 2013 ALBUM

Photo by Hiroki Kimura



雄大な夕焼け空

乾燥した深い谷



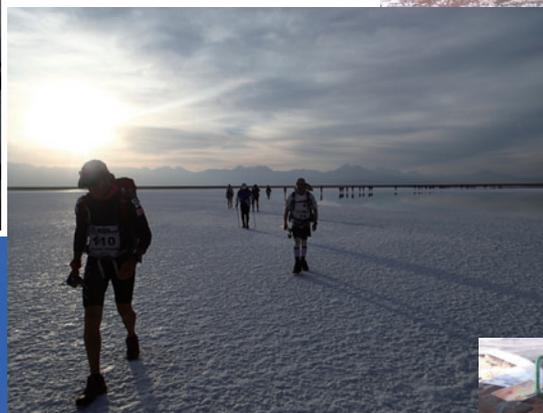
塩分が足に染み入る塩湖



岩石のように鋭い角が足に刺さる塩の平原



河の周りはおアシスのよう



モバイルソーラー充電中



抜けるような青空の元、気温 40 度の砂丘 (上)

ATACAMAN 全員完走 (右下)  
気が萎えるような果てしない荒地 (左下)



今回のモバイルソーラーは、砂漠用にオリジナル製作したものです。オーエスでは木村さんの経験を生かし、さらに改良した軽量で使いやすいモバイルソーラーの市販化を進めます。ご期待ください。  
ATACAMANの皆さん、完走おめでとうございます。お疲れ様でした。